

## 【近畿 ESD コンソーシアム・学生による ESD 活動支援】

### 三碓小学校での野外活動支援 活動報告書

国語教育専修 2 回生 吉岡 優来

1. 実施日 2023 年 6 月 14 日 (水)
2. 場所 生駒山麓公園 野外活動センター
3. 参加者 教育学専修 4 回生 中家 麻弥  
国語教育専修 2 回生 富永 望天  
国語教育専修 2 回生 吉岡 優来  
英語教育専修 2 回生 澤井 咲樹  
特別支援教育専修 1 回生 田畑 朗  
音楽教育専修 1 回生 瀨本 和律

#### 4. 活動の概要

生駒山麓公園野外活動センターで三碓小学校の野外活動支援を行った。支援として、野外炊飯の補助、キャンプファイヤーでの出し物・補助を主に行った。

#### 5. 参加学生の学び・感想

今回の野外活動で、「支援する」ということは、できないことを手伝いできるように声をかけるといったようなことだけではなく、子どもたちが挑戦できるように、またはやってみたいと思えるようにすることだと学ぶことができた。野外活動では、「上手くできた」「楽しかった」という経験だけではなく、「難しかったけれど挑戦したらできた」「失敗したこともあったけれどみんなと協力できた」といったことも経験できる場であると考えられる。全て手伝う前に、まずは子どもたちと一緒にどうしたらいいか考えてみたり、安心出来る言葉がけをしたりして、子ども達に勇気を出して一歩踏み出せるようにするといったことを促すことで、子ども達にとって挑戦し学びになることが大切だと考えた。

(教育学専修 4 回生 中家麻弥)

今回の野外活動支援では、野外活動当日だけでなく、事前指導にも何度か参加させていただいた。事前指導や当日を通して、児童たちが野外活動を盛り上げようと自主的に話し合ったり、楽しそうにスタンプに参加したりしている姿が強く印象に残っている。「支援」という言葉をプレッシャーに感じていたが、児童と一緒に野外活動を楽しむことが、支援につながっているのだと学ぶことができた。短い期間で多くのことを学び成長する児童を、間近で見ることができた貴重な経験であった。児童の成長だけでなく、自身の成長も感じることができ、今後はより積極的に野外活動支援に参加したいと思うことのできた活動であった。

(国語教育専修 2 回生 富永望天)

今回の野外活動支援では、当日に参加するだけでなく、先生方との連絡や事前指導などにも携わらせていただいた。

全ての活動の中で、教師のあるべき姿を学んだ。キャンプファイヤーの事前指導をする際には、移動の仕方や学ばせることなど細かく考えておられ、学生とも連携して下さった。当日では、野外炊飯・入浴・キャンプファイヤー、またその間の移動や待ち時間も児童たちに「今どうすべきか考える」という声掛けをされており、指示をすべき部分はしっかり指示しておられた。これらのことか

ら、教師は入念な準備をしたうえで、その場で児童達に考えさせるための工夫をするべきであると学んだ。

(国語教育専修2回生 吉岡優来)

今回の野外活動支援では、学校との連絡や事前指導、当日の野外活動支援に携わった。

今回の野外活動支援で、教師側は全て指示するのではなく、児童にどう行動すべきか考えさせているということを学んだ。例えば、入浴場までの行き方や場所を直接教えるのではなく、地図を見て自分たちで考えて行くように指示していた。小学生だからといって教師が何でも指示するのではなく、考えて行動させ成長する機会を作っているのだと感じた。また、指示をする際、児童に伝わりやすいよう工夫するべきだと学んだ。特に、話す順序に注意し、児童が理解しやすいように言葉を選ぶ必要があると知った。

(英語教育専修2回生 澤井咲樹)

今回の野外活動支援を通して、生徒と密に関わる機会を設けられたとき、いかに生徒の意思を汲み取ることが重要かを学んだ。教師になった際、勉強面や生徒との関わりの面にもこの重要性は色濃く現れる。頭ごなしに生徒に教師の価値観を押し付けることは、生徒の多様性を阻害することになり成長の妨げとなる。野外活動支援にて、生徒主導の活動の補助が生徒の成長を促し得ると感じた。これができる慣用性のある教師になることが生徒の成長に資するのではないかと考える。

(特別支援教育専修1回生 田畑朗)

今回の野活で学んだことは、主に三つある。「どのようにして小学生に楽しんでもらうか」「どんな言葉をかければ良いか」「興味を持ってもらうにはどのようにしたら良いか」である。野外炊飯でカレーが完成し子供たちが自分でご飯を入れる際に、嫌がる子どもがいたが、自分は「やってみる？」としか声掛けできなかつた。しかし、その後「おこげのバリバリとるのが楽しいよ」と声掛けをしながら実践すると、子供たちも「やりたい」と言い出し、率先してやってくれるようになった。このことから、言葉を選んで言い換えることで子供たちの興味を引き出すことが出来ると学んだ。

(音楽教育専修1回生 濱本和律)